

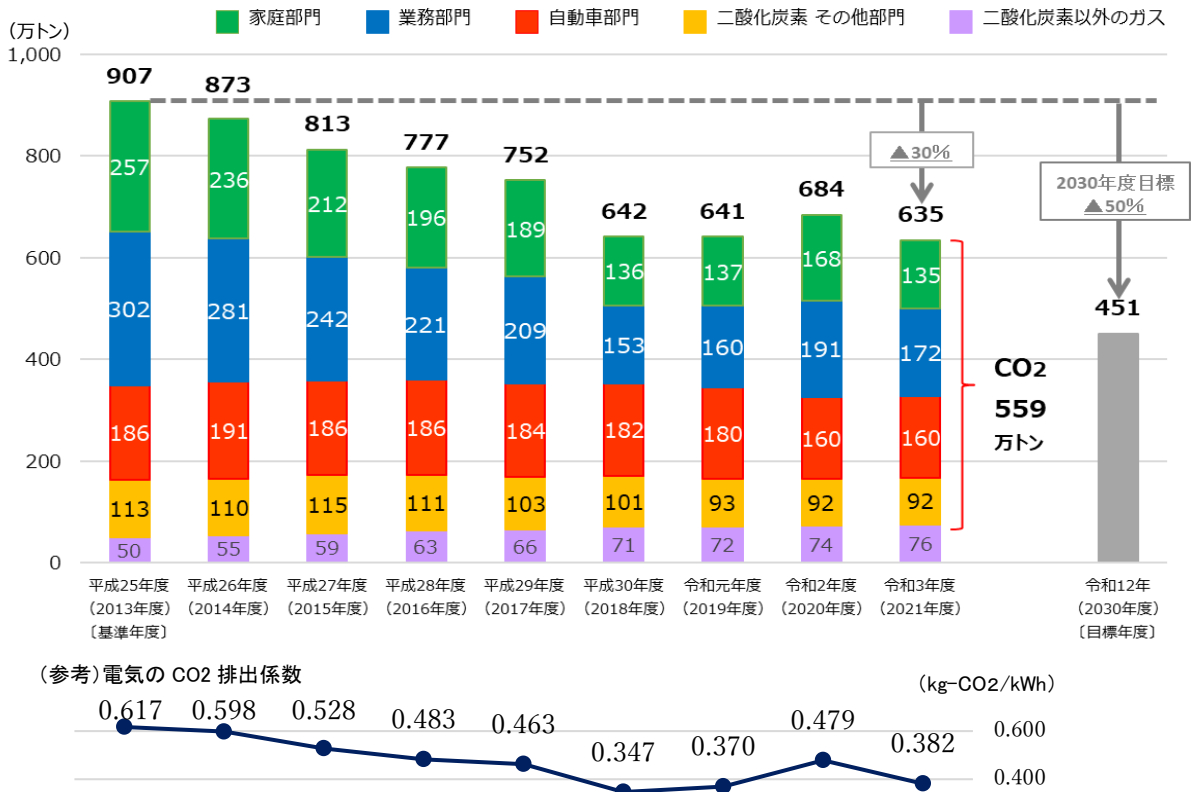
環境の状況

IV 地球温暖化対策・エネルギーに 関するデータ

1 福岡市域における温室効果ガス排出量等の状況

(1) 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）の推移

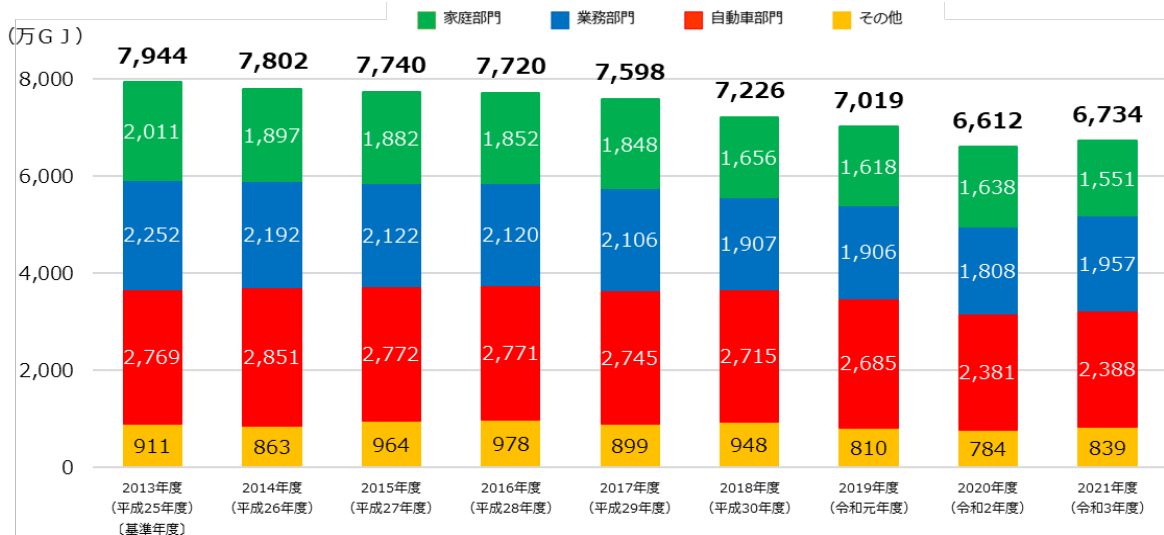
福岡市域の2021（令和3）年度における温室効果ガス排出量は、635万トンと推計しており、福岡市地球温暖化対策実行計画の基準年度である2013（平成25）年度と比べ、30%減少しています。



※四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が一致しない場合がある

※電気のCO2排出係数は、環境省・経済産業省公表「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)」の九州電力㈱の値

(2) 福岡市域におけるエネルギー消費量等の推移



※四捨五入の関係のため、消費量の内訳と総量が一致しない場合がある

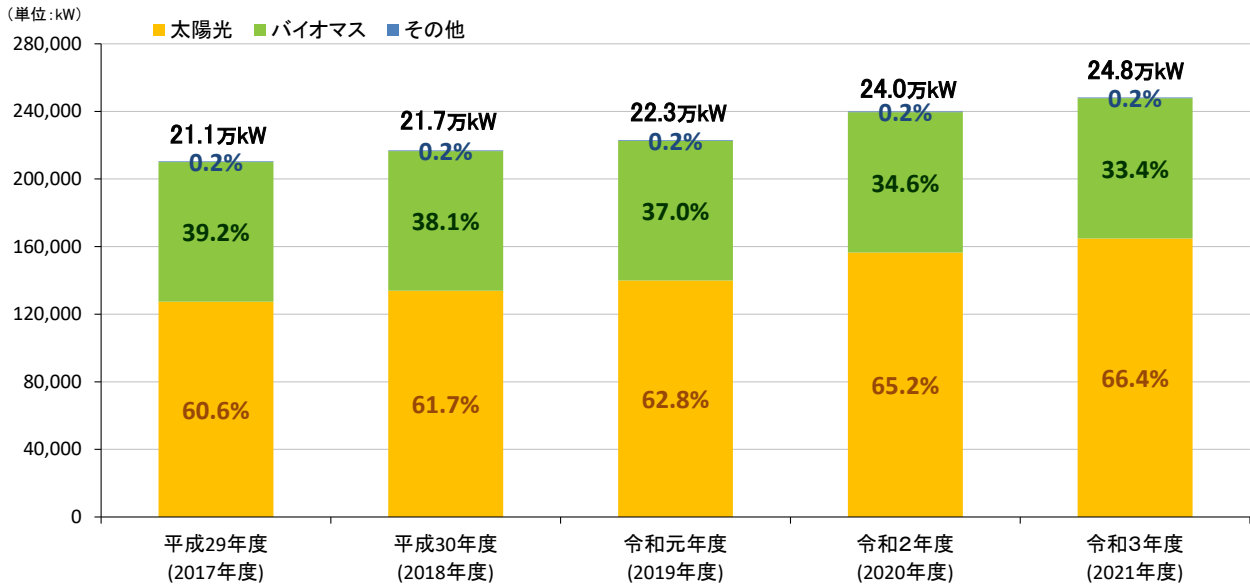
※其他: 産業部門(農林水産業、建設鉱業、製造業)、運輸部門(鉄道、船舶)、エネルギー転換部門(熱供給事業)

	2013年度 (平成25年度) [基準年度]	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2030年度 (令和12年度) 目標
世帯あたりのエネルギー消費量 (GJ/世帯)	27.8	25.8	25.2	24.4	23.9	21.0	20.2	20.1	18.8	15.8
業務系建物床面積あたりのエネルギー消費量 (GJ/m ²)	0.94	0.91	0.88	0.88	0.87	0.78	0.78	0.73	0.79	0.65

2 福岡市域の再生可能エネルギー導入状況

令和3年度における福岡市内の再生可能エネルギーによる発電規模は、24.8万kWと前年度と比べ約8千kW増加しています。

電源別の構成では、太陽光とバイオマスでほぼ占められています。



3 市役所業務にかかるエネルギー起源二酸化炭素排出量の状況

市役所業務にかかる2022(令和4)年度のエネルギー起源二酸化炭素排出量は、107千トンであり、福岡市役所地球温暖化対策率先実行計画の基準年度である2013(平成25)年度と比べ、56%減少しています。

